

輝け！シン尾花沢中

第205号
令和8年
3月14日

ゆくてののぞみ 語りつつ 自律をめざす わが学園

答え、引き継がれる ^{オーだま} O魂

今号では大類鳳馬さんの答辞を紹介します。

本日はご多用の中、私たち卒業生のためにこのような立派な卒業式を開いていただき誠にありがとうございます。本日、私たち卒業生は、この尾花沢中学校を巣立つ日を迎えました。今こうしてこの場に立っていると、胸が高まり、三年間の出来事が次々と思い出されます。

新しい制服、新しい教室、新しい人間関係の下で始まった一年生の春。「新しい」「新鮮な」ものばかりに囲まれ不安もありましたが、普通の学校生活の中で仲間と共に過ごしていくうちに、いつの間にかその不安は楽しさへと変わっていきました。部活動では、先輩方の背中を見て、「自分もあんなふうになりたい」と憧れを抱きました。初めてのクラスマッチである駅伝大会では、クラスの枠を越えて応援し合い、最後まであきらめずに走り続けました。その中で芽生えたのは、「One for all, all for one」という言葉そのものの大きな絆でした。

二年生になると、私たちは少しずつ学校の中心となり、新人戦や修学旅行、職場体験など数多くの経験を重ねました。うれしい結果も悔しい思いも、そのすべてが、自分たちを磨き成長させてくれる糧となりました。学年を越えて関わる中で、一人ひとりの個性が学校を支えていることに気づきました。修学旅行が実現したのも、先生方や保護者の皆様に、支えていただいたからこそです。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

三年生になると、何事にも「最後」がつく一年でした。地域貢献活動では、学んできたことを生かし、地域の方々と関わりながら尾花沢の魅力を発信しました。統合前最後の運動会では、感動と笑顔が入り混じり、忘れられない時間となりました。そして、地区中学校総合体育大会。新人戦から積み重ねてきた日々を胸に、仲間と切磋琢磨し、時には助け合いながら全力で挑みました。勝利をつかんだ部もあれば、惜しくも敗れた部もありましたが、結果以上に共に過ごした時間こそが、私たちの一番の宝物です。

私たちは、生徒会スローガン「響輝～個性、自立、挑戦、感謝、感動の五つ星～」そして、文化祭スローガン「個星～輝く星となり 創る満天の星空を～」のもと、それぞれの個性を輝かせてきました。一人ひとりの小さな光が集まり、学校全体を照らす大きな星空となったのだと思います。私たちは、この三年間を通して、仲間と共に歩んできました。「One for all, all for one」。一人の頑張りを皆で支え、皆の思いを一人が背負う。そうして全員で活動し、全員で成長してきたことこそが、私たちの学年の誇りです。

在校生の皆さん。迷ったときは周りを見てください。必ず支えてくれる仲間がいます。自分を支えてくれる人への感謝を忘れず、仲間と共に成長し続けてください。福原中学校との統合を経て、尾花沢中学校がさらに素晴らしい学校になることを、心から願っています。

ここで、私たち卒業生が一番近くで支えてくれた家族へ感謝を伝えさせてください。普段は気恥ずかしくて、「ありがとう」という言葉を飲み込み、素直になれないこともありました。それでも、毎日変わらず支えてくれたからこそ、今日、この日を迎えることができました。この場を借りて、心から伝えます。本当にありがとうございました。

私たち卒業生は、ここで学んだことを胸に、それぞれの場所へ羽ばたいていきます。これまで支えてくださったすべての方々へ、感謝の気持ちを込めて、答辞といたします。

令和八年三月十四日

卒業生代表 大類 鳳馬

在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞、そして、一つひとつの言葉をかみしめながら聞いている卒業生と在校生…、こうやって校風は引き継がれていくことを実感した1日となりました。

改めて、卒業生及び卒業生の保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の前途ある未来をお祈り申し上げます。

【文責：校長 工藤雅史】